

## 薬害教育に関する本年度の取組について

## 1. 薬害教育教材の周知について

- 令和2年8月末、『薬害を学ぼう』、視聴覚教材『指導の手引き』、『指導の手引き（簡略版）』とともに、平成29年度及び平成30年度に実施された薬害に関する授業の実践事例集と令和元年度の実践事例を配布。
- 『薬害を学ぼう』のサイトに視聴覚教材、指導の手引き、授業の実践事例等を掲載しており、今年度は『薬害を学ぼう』の一部を抜粋した教材も授業用素材として新たに掲載。

## 2. 薬害に関する授業の実施について

- 薬害に関するモデル授業については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、実施いただく学校の募集及び実施は行わず、活用事例等の改訂も行っていない。
- ただし、昨年度モデル授業を実施した以下の学校から、昨年度のようなモデル授業は実施できないものの、薬害に関する講演を実施したとのご連絡をいただいた。
  - ・ 岐阜県池田町立池田中学校  
H I V感染症被害者の就労実態を通して働くことの苦勞を知るとともに、誰もが差別なく就労できる社会の実現について考えるため、また、薬害による被害の実態を通して、行政の役割について考えるため、小山昇孝氏（大阪H I V薬害訴訟原告団）による講演と質疑応答を実施（新型コロナウイルス対策のため、例年の対面実施ではなく、放送室から各教室へ放送する形で実施）。
- また、京都府京田辺市立田辺中学校において、栗原敦氏（MMR被害児を救援する会）による講演等を年度内に実施予定とご連絡いただいている。

## 3. 教材の使用方法等に関するアンケートについて

- 教材の使用方法等に関するアンケートは、新型コロナウイルス感染症の発生に伴う学校の負担軽減の観点から今年度は行わず、教材の使用方法等に御意見等あれば室の共有アドレスへ随時お寄せいただくよう案内。
- ※ 令和元年度アンケート結果によると、内容が適切とする回答が全体で約65%、使った方に限定すると約85%であり、概ね現場の理解を得られていると考えている（別添）。
- ※ 短時間で実施するための工夫を求める現場の声はあるため、今年度新た

に配布した令和元年度の実践事例には、1コマで行った事例を含めている。

#### 4. 今後の取組について

- 薬害教育教材の周知については、引き続き、薬害教育教材を配布する。
- 薬害に関する授業の実施、モデル教材の使用方法等に関するアンケート等については、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を踏まえて検討する。